

提 言 書

日 時 令和 5 年 8 月 2 9 日（火） 午前 1 0 時 0 0 分から午前 1 1 時 4 0 分まで
場 所 紀の川市役所 5 階 5 0 2 中会議室
出席者 仁藤委員、箕輪委員、赤井委員、恩賀委員、野村委員、中村委員、川端委員

審議事項

- ・ 令和 4 年度行財政改革推進計画の進捗状況について
- ・ 令和 5 年度行財政改革の推進体制・推進計画について
- ・ 令和 5 年度行財政改革推進事項について

令和 4 年度行財政改革推進計画の進捗状況及び令和 5 年度行財政改革推進体制・推進計画、推進事項について、行政経営部会、人事部会、施設部会、財政部会及び DX 部会から説明を受け、行財政改革が着実に執行されているかの審議を行いました。

人口減少下において、市税の減収が見込まれるなど、今後も本市にとって厳しい状況にあります。そのような中、時代に対応した行財政改革が進められ、成果が得られていることが確認できました。第 3 次紀の川市行財政改革大綱に挙げられた項目については、一部継続した対応が必要ではあるものの、概ね計画通り実行されています。また、第 4 次紀の川市行財政改革大綱においては、官民連携や DX 等の視点を取り入れた取組が期待されており、実行できる計画になっていると判断できます。

つきましては、下記のとおり委員会における提言を記しますので、今後の行財政改革の取組に反映されるようお願いします。

記

① 行財政改革の推進について

これまでの第 3 次紀の川市行財政改革大綱で実行した取組を継続しながら、今年度から始まった第 4 次紀の川市行財政改革大綱に基づいた、効率的・効果的な行財政改革を推進していただきたい。

② 生成 AI 等の新たなサービスを活用した業務改善について

複雑化・多様化する行政ニーズを効率的に対応するため、生成 AI 等の新たなサービスの活用についての方針を検討し、業務改善に努めていただきたい。

③ 市民に寄り添ったデジタル化への対応

電子申請・届出など、デジタル技術を活用したサービスの拡大には努めている一方で、高齢者等でもわかりやすく、利用する全ての市民の利便性が向上するデジタル化を進めていただきたい。

④ 物価高騰を考慮した行財政改革の推進

全国的に物価の上昇が続いている中、コスト削減を前面に出すのではなく、物価上昇にあわせた工事の計画・設計等の適正化による効果的な行財政改革に努めていただきたい。